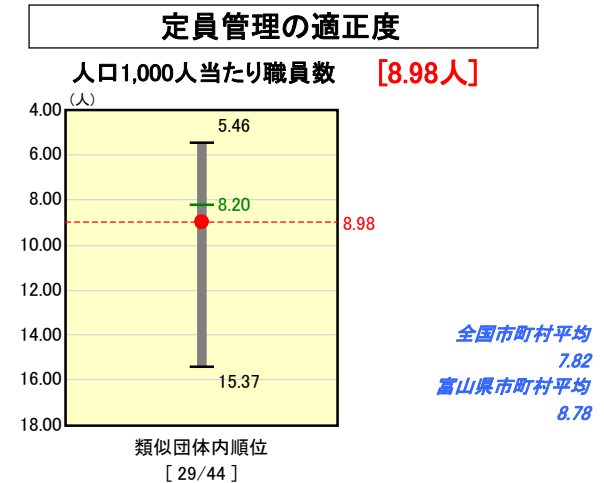
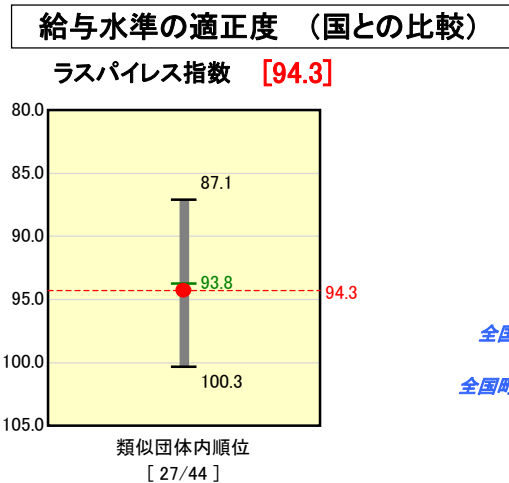
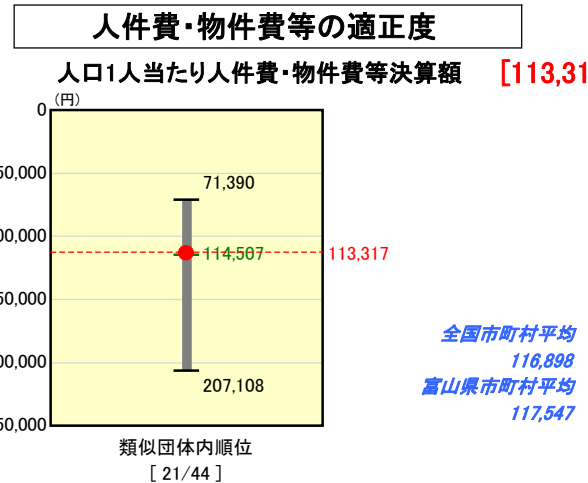
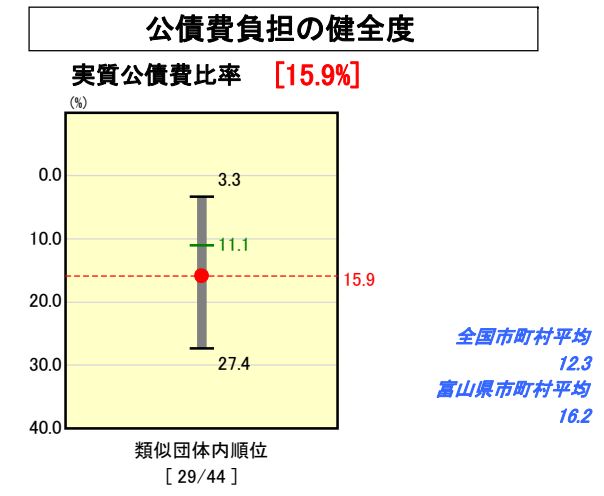
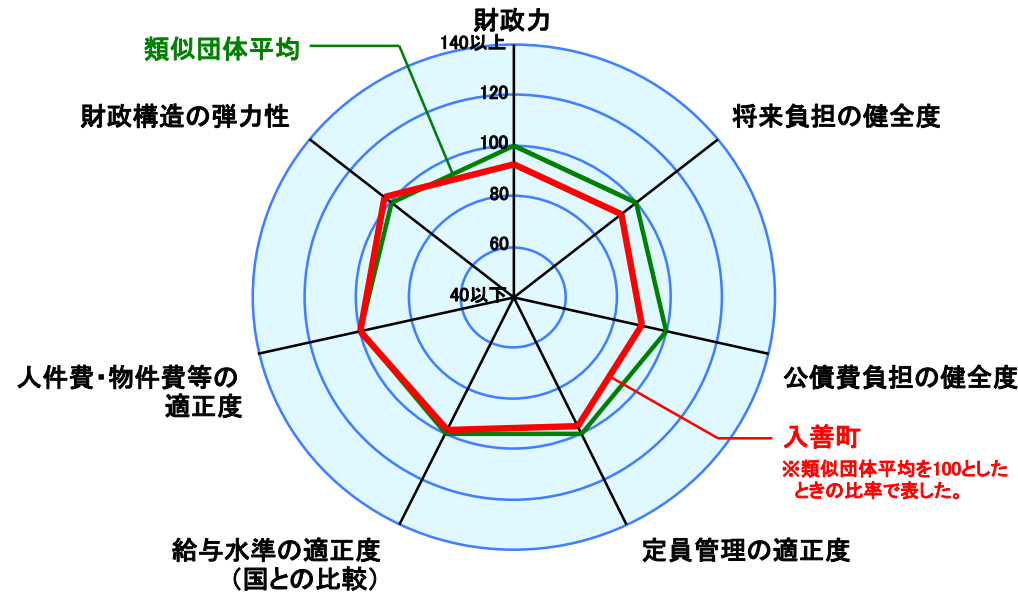
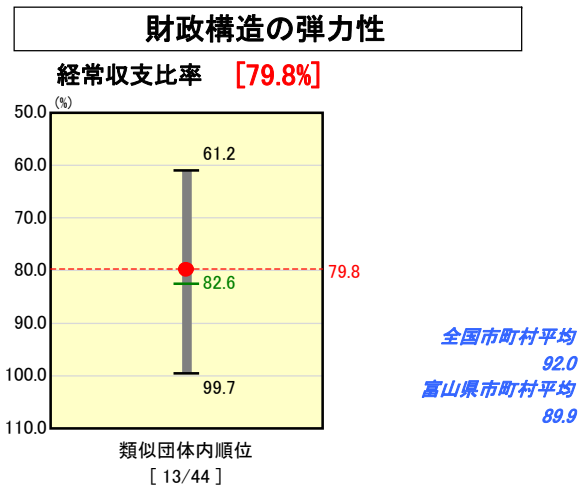
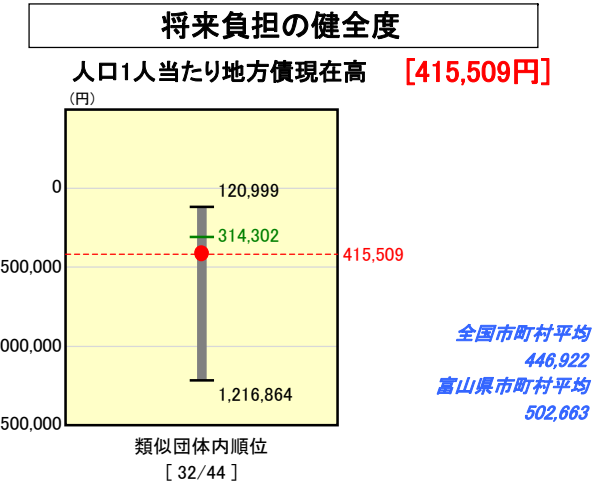
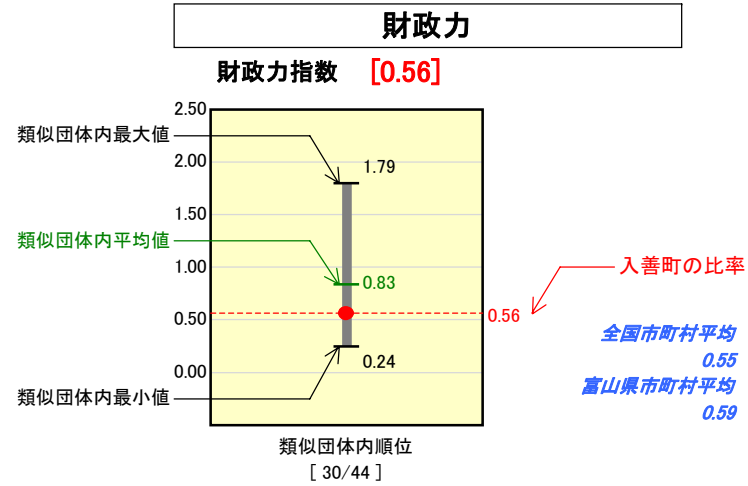


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

富山県 入善町

人口	27,723 人(H20.3.31現在)
面積	71.29 km ²
歳入総額	11,005,859 千円
歳出総額	10,562,232 千円
実質収支	398,006 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

[財政力指数]
人口の減少、全国平均(19年21.5%)を上回る高齢化率(同年26.9%)などにより、類似団体平均を大きく下回っているが、数値自体は平成17年度から2ヶ年連続の伸びをみせており、0.56となっている。これは町内企業の業績が好調なことから法人税収の伸び(前年度比26.9%増)や税源移譲による個人住民税の伸びが要因として挙げられる。今後も定員管理計画に伴う適正な定員管理による人員の削減などの経常経費の圧縮や主要施策へ財源の重点配分、さらには自主財源の確保に向けた企業立地の推進に努めることで財政の健全化を図る。

[経常収支比率]
類似団体平均を下回っているが、今後も行財政改革大綱などにに基づいた計画的な職員採用による人件費の抑制(5年間で37人減)やすべての事務事業(全264事業549項目)の見直しにより経常経費の削減に努める。

[人口1人当たり人件費・物件費等決算額]
人口1人当たり決算額は類似団体平均を若干下回っており、要因としては退職不補充などによる人件費の圧縮と経常的な物件費の見直しによる抑制によるものである。今後も行政サービスを低下させることなく、事務にかかる物件費などの抑制に努める。

[ラスパイレス指数]
国に準じた諸手当の見直しなどを行っているほか、17年度には退職一年前特別昇給の廃止などさらなる見直しを行った。今後も継続した見直しを行い、現在、類似団体平均を若干上回っている数値の引き下げを図る。

[人口1人当たり地方債現在高]
人口は減となっているが、地方債残高も減っており、1人当たり地方債現在高は若干の減となっている。今後も事業財源として、計画的な地方債発行により類似団体平均の水準となるよう努める。

[実質公債費比率]
現状として類似団体平均を上回っており、普通会計における地方債残高は今後減少の見込であるが、下水道事業等に対する準元利償還金としての繰出金の増により実質公債費比率は今後も微増の動きにあると見込まれる。事務事業の見直しによる効率的な事業選択及び他会計の健全運営に伴う基準内繰出金の徹底などによって数値の増加を抑えるよう努める。

[人口1,000人当たり職員数]
類似団体平均を上回っているが、平成16年から平成26年までに職員数61人減(△20.3%)を目標とする第三次入善町職員定員管理計画に基づく職員の採用計画により、定員管理の適正度を類似団体平均水準にまでになるよう努める。